

令和5年度（2023年度）事業計画

（令和5年4月1日～令和6年3月31日）

1. **ブライダルに関する調査研究ならびに情報の収集及び提供（定款第4条第1項関連事業）**

（1）調査研究事業

1) ブライダルサービス現場の実態調査

ブライダルサービス現場を対象とするアンケート調査。

2) 「未婚化対策」に係る事業創出のための調査及び研究

- ① 国の課題である少子化対策への業界としての貢献策の研究。
- ② 結婚関連の各種統計、データの情報収集、各種調査への協力。
- ③ 婚活・ブライダル振興議員連盟、人口減少対策議員連盟との「結婚喚起活動」での連携。
- ④ BMC、地域ブライダル協議会等と連携した「結婚喚起活動」のあり方を研究。

3) コロナ化を経たブライダル業界の課題に対する調査研究

- ① コロナ禍を経て、経営としての課題、営業現場の課題を抽出。
- ② 最重要課題である人材問題の解決策について調査研究。
 - ・業界を目指す学生の意識等調査（業界の魅力度等）。
 - ・離職者の意識調査（やめた原因等）。
 - ・継続的に働ける職場環境作り。
 - ・事例の共有、経営のヒントを発信。
- ③ コロナ禍を経た若者の意識の変化について調査研究

4) 日本の婚礼文化に関する調査研究及び情報収集

- ① 日本の婚礼を通じて産業文化の繋がりと、生活文化の繋がりを研究。
- ② 日本遺産化を含め、日本の結婚式全体が活性化するためのスタディ。
- ③ 地域の婚礼の慣習・しきたり等を探り、地域の歴史や環境により醸成された伝統文化と婚礼の関係等を整理。
- ④ 全国の式場に啓蒙することで、お客様の夢と期待を膨らませ、ご満足頂くためのおもてなし「ツール」とする。
- ⑤ 神社結婚式振興会との連携・協働

5) 少子化・ナシ婚対策に関する調査研究及び情報収集

- ① 婚姻件数の増加に結び付ける取組に関する調査研究
- ② 日本の婚礼文化の訴求による「クールジャパンプロジェクト」「インバウンド」等への貢献策に結び付けるための調査研究、情報収集

6) ブライダル業界のコンプライアンス等に関する調査及び研究

ブライダル事業に係る「法令遵守」「トラブル防止」に向け、国民から信頼されるために必要なガイドライン・ルール構築に向けた調査研究。

① 業界のコンプライアンス等に係る情報の収集。

ブライダル業界に係る各種法律に対する業界実態調査、法律改正等新たな動きへの対応方針の検討。

- ・ 消費者契約法改正に向けた情報収集。
- ・ 音楽著作権等適正利用に関する協議。

7) 経済産業省、厚生労働省及び内閣府、その他省庁等との連携強化、調査要請への協力

① 経済産業省への協力、継続的な調査。

② 厚生労働省への協力。

③ 内閣府、子ども家庭庁への協力。

④ その他省庁及び行政機関からの協力依頼への対応。

8) 学術団体（学会）への研究参加

産学連携によるブライダル事業における諸課題についての研究等を行い、特に「未婚化対策のあり方」等に関する情報収集。

《余暇ツーリズム学会・ブライダル分野研究部会活動》

- ① 未婚化・少子化対策に係る国・行政・教育機関・ブライダル業界のあり方の研究
- ② 本部主催の研究会並びに地方支部での研究部会におけるワークショップへの参加
- ③ 余暇ツーリズム学会の論文集におけるブライダル特集を企画提案
- ④ 産学協同による「我が国の婚礼サービス」等の「国際化」に関する情報の収集
- ⑤ 大学生・専門学校生等「学生」と共に「未婚化対策」の進め方を考える

10) その他、当協会の目的を達成するための調査研究

① 中長期ビジョンの検討

業界の発展に向け、当協会の永続的な事業運営を図るために必要なビジョンの検討。

② その他

(2) 広報事業

1) 未婚化・結婚喚起対策に係る広報活動

【目的】未婚化・結婚喚起対策の全国展開を図るため、関連団体等に働きかけ、協同事業とすることで、業界の活路を開拓する。

【活動】BIA 各支部、各地域 BMC、地域ブライダル協議会が協同し、地域の実情に応じた活動をサポートする。

【支援】講師派遣、会議費等の一部助成、施策実施支援等。

【活用】婚活・ブライダル振興議員連盟、国・行政機関にも働きかけた展開。

効果的な施策の横展開を図る。

一般消費者への結婚喚起情報の発信。

【団体】BIA 支部 (8 支部) :

北海道・東北支部／関東・甲信越支部／中部支部／関西支部／中国支部

四国支部／九州支部／沖縄支部

Banquet Manager's Conference (BMC) : 全国及び 12 地区

全国 BMC／北海道 BMC／東北 BMC／東京 BMC／北陸 BMC／名古屋 BMC／滋賀

京都 BMC／関西 BMC／中国 BMC／広島 BMC／四国 BMC／九州 BMC／沖縄 BMC

地域協議会 :

山形ウェディング協議会／茨城ウェディング協議会／つくばウェディング協議会／

ぐんまウェディングチーム／トチギ結婚式協議会／宇都宮ウェディング協議会／下

町文化ウェディング協議会／青山ウェディングタウンフォーラム

TAMA ウェディング推進会／横濱ブライダル発展会／湘南ウェディング協議会

一般社団法人かながわ西結婚推進協議会／伊豆リゾートウェディング協会

軽井沢ウェディング協会／一般社団法人信州ブライダル協議会

一般社団法人山梨ウェディング協議会／富山県ウェディング協会

滋賀ウェディング協議会／南港ウェディング会議／神戸ウェディング会議

関西ブライダルビジネス懇話会 (KBC) / きしゅうわかやまウェディング協議会

岡山ウェディング協議会／香川ウェディング協会／高知ウェディング協議会

門司港レトロブライダル協議会／延岡・日向ウェディング協議会

鹿児島ウェディング協議会／一般社団法人沖縄リゾートウェディング協会 等

2) 賛同者拡大に向けた広報活動

① 新規会員獲得キャンペーン (R5.4.1～)

・【目標】 100 社 (会員企業 1 社紹介)

・書面を作成し、会員メリットの創出と訴求

- ② 関連団体、地域協議会との連携強化
 - 積極的に連携を推進するため、連携スキームを整理のうえ、アプローチを図る。
 - 入会勧奨。情報の発信、共有化。
 - 支部活動との連携、研修会等の協同、協議会活動支援等。
 - ③ 技能検定合格者、BC講座修了者等個人の組織化
 - ・技能検定合格者の「技能士会」を設立し、合格者のフォローアップ研修等機会の創出
 - ・BC修了者のデータベース整備、フォローアップ研修等機会の創出
- 3) 業界のコンプライアンス等に係る対応
- モデル約款及びブライダルサービス宣言の認知拡大
- ① コロナ禍を経て、モデル約款の検証及び普及啓蒙活動
 - ・改訂から2年を経過するモデル約款の条文、運用等を検証し、必要な改訂を検討。
 - ・検証後には、各地域での研修会等を実施
 - ② ブライダルサービス宣言の検証及び認知拡大
 - ・コロナガイドライン廃止後の感染防止対策等を踏まえた改訂を検討。
 - ・検討後、認知拡大の広報活動を実施。
- 4) 経済産業省及び各省庁、行政機関発信情報の業界告知活動
- ① ブライダル事業に直接関係する法律等の改正等に伴う、普及啓発等
 - ② 省庁、行政機関からの告知要請対応
- 5) ブライダル産業新聞による「BIA 活動」の発信（毎月21日号）
- ① 事業の経過報告（調査研究、講座・研修会・イベント結果等）
 - ② 事業の予告（募集活動、イベント告知等）
- 6) BIA 広報活動の強化
- ① ホームページの更改
 - ・政府・行政からの指示・連絡及び広報等の消費者、業界向け発信
 - ・一般消費者向けの広報機能
 - ・技能検定サイトの充実、機能強化
 - ・物販サイトの充実（参考書、DVD、技能士カード・バッジ等）
 - ② インバウンド向け情報発信の研究
 - ③ 会報誌等の編集、発行

7) 出版・発行物等

- ① ブライダルコーディネーターテキスト スタンドアードの発行
- ② ブライダルコーディネーターテキスト エキスパートの発行
- ③ ブライダル用語辞典の改訂発行
- ④ The Master of Bridal Coordinator コンテスト接客ロールプレイング試験 DVD の販売

8) TV、新聞社等への情報発信、取材協力

- ⑤ 各媒体等へのイベント情報等の発信
- ⑥ 各種取材・撮影協力への対応

9) 会員企業への情報発信

10) その他、当協会の目的を達成するための広報活動

2. **ブライダルに関する人材育成事業（定款第4条2項関連事業）**

(1) 技能検定試験の実施

ブライダルコーディネーター技能検定は、職業能力開発促進法第47条台1項の規定に基づき、厚生労働省より2018年7月23日に、指定試験機関として指定。

1) 試験実施体制

- ⑦ 指定試験機関技能検定委員会の開催
- ⑧ 指定試験機関技能検定委員の再任及び追加選任
- ⑨ 実施マニュアル等の修正・見直し
- ⑩ 水準調整会議の開催

2) 試験実施公示・募集開始

- ① 試験実施概要公示：令和5年4月21日
- ② 1級及び2級募集開始：令和5年9月26日
- ③ 3級募集開始：令和5年10月23日

3) 学科試験の実施

- ① 1級及び2級
2023年12月5日：札幌・仙台・東京・名古屋・大阪・広島・福岡・那覇
- ② 3級
2024年1月24日：上記8地区及び団体受検校（約100校）

4) 実技試験の実施

- ① 1級 2024年2月20日(東京)、21日(大阪)
- ② 2級 2024年2月6日(東京)、7日(名古屋)、14日(大阪)、15日(福岡)
- ③ 3級 2024年1月24日: 上記8地区及び団体受検校(約100校)

5) 2022年度の実施状況(2023/3/14現在)

等級	学科試験			実技試験			総合		
	受検者	合格者	合格率	受検者	合格者	合格率	受検者	合格者	合格率
1級	54	14	26.9%	46					
2級	120	89	74.2%	91					
3級	4,025	3,216	79.9%	4,035	3,150	78.1%	4,058	2,896	71.4%

*受検者には、辞退者・欠席者を含む申請者数

6) 合格者への技能士カード・バッジの販売

1～3級合格者に対し、技能士カード・バッジを販売。

<参考>

令和4年度販売数(3/14現在)

1級: 36件(累計:126)

2級: 34件(累計:98)

3級: 142件(累計:389)

(2) BIA 認定 Associate Bridal Coordinator (アソシエイトブライダルコーディネーター)

業界の人材育成を図るため、技能検定とは関連を持たない BIA が認定する独自の制度として、平成30年度から実施。

【目的】ブライダル業界での就労を目指すために必要な「基礎知識」の習得

【資格の名称】

BIA 認定 Associate Bridal Coordinator (アソシエイトブライダルコーディネーター)

【対象】ブライダル関係の仕事に従事することを希望し、民間の教育機関で学ぶ、大学生、社会人及びブライダルを学ぶ専門学校、短期大学の学生

【認定方法】各学校にて、試験を実施する。合否判定のうえ、当協会あて、認定申請を行う。

【試験問題】筆記試験(50問)+論文 又は 筆記試験(100問)により実施。

予め定める出題範囲、想定する人材像に基づき、各学校にて試験問題を作成。

【日程】12月～1月頃(学校任意)。

【会場】認定を希望する会員校。

(2) 新たな人材育成講座の検討

技能検定の実施に伴い、終了となったブライダルコーディネーター養成講座に代わる、技能検定とは関連を持たない人材育成講座の検討。

(3) 専門学校・短期大学・大学等への協力

1) ブライダル現場で活躍できる人材教育

ブライダル業界への最大の人材供給先である大学・短期大学、専門学校等教育現場と受入れ先である結婚式場及び関連事業者が連携し、より実践的な学校教育、人材育成について、協議・スタディを行い、採用後に活躍できる人材育成を追求。

- ・学校関係者及び結婚式場等へのアンケート等調査の実施。
- ・学校関係者及び結婚式場等による、意見交換、研修会等の実施。

2) 学校行事等への協力

<教育課程編成委員会>

- ・国際ホテル・ブライダル専門学校
- ・横浜fカレッジ
- ・国際ファッションビューティ専門学校
- ・(学)大原学園 金沢校
- ・(学)大原学園 東京ホテル・トラベル学院専門学校
- ・(学)三幸学園 東京ウェディング&ブライダル専門学校

<評議委員>

- ・(学)日本ホテル学院
- ・(一財)日本ホテル教育センター

<卒業生制作発表会等>

- ・専門学校日本ホテルスクール
- ・国際ホテル・ブライダル専門学校
- ・横浜fカレッジ
- ・大阪ブライダル専門学校
- ・埼玉女子短期大学
- ・跡見学園女子大学
- ・その他専門学校、短期大学等

(4) ブライダルコーディネーターテキストの改定

【実施期間】 令和4年4月～令和5年3月

【実施方法】 改訂委員会による検討

【改訂内容】

- ・スタンダード編改定
- ・エキスパート編改定
- ・ブライダル用語辞典の改定

3. **ブライダルに関する研修会・セミナー及びイベント等の開催（定款第4条第3項関連事業）**

(1) **研修会・セミナー事業**

1) 総会時のシリーズ研修「出せ・出せ・出せ・出せ・知恵を出せ」シリーズ

【日時】 2023年6月8日（木）16：30～

【場所】 ホテル椿山荘東京

【目的】 ブライダル業界の知的生産性の向上

【テーマ】 「ブライダル業界として取組が必要なDXとは」（仮題）

【講師】 （調整中）

2) 定例研修会の実施

【目的】 業界健全化、コンプライアンス等

【テーマ】 モデル約款の改定に係る普及報告会

【開催場所】 東京・大阪（予定）」

3) 支部主催セミナー（調整中）

・ 関東・甲信越支部セミナー

・ 関西支部セミナー

・ 各支部主催セミナー（BMC 共催）

4) 全国専門学校・大学ブライダル教職員セミナー

【目的】【日時】【訪問地】 調整中

5) ブライダルコーディネーター修了者等を対象とした Bc.com 研究会

① BC セミナー「ブライダル・サービス英会話」（10回コース）

講師：日本 CA 協会講師

② BC セミナー「ブライダル・サービス手話」（10回コース）

6) 経営者研修会

【目的】【テーマ】【日時】【会場】 調整中

7) 関連団体との研修会・セミナーの協同、協力

① ジェイシック（JSC）加盟団体との合同研修会

【目的】 サービス産業に関わる団体が、団体運営に関わる情報を共有し、加盟団体が抱える課題等の解決に協力し合うことにより、サービス産業全体の資質

の向上を図るため、それぞれの団体の特質を共有する勉強会・検討会を継続実施している。(JAPAN HOSPITALITY & SERVICE INDUSTRY CONFERENCE)。

【事務局】 FBO 内に設置 (会長は野田専務理事が務めている)。

【活動】 年2回の例会、勉強会にて各団体の現況や課題を共有している。

【構成団体】

1. 公益社団法人日本ブライダル文化振興協会 (BIA)
2. 一般社団法人日本ホテルレストランサービス技能協会 (HRS)
3. 全国サービスクリエイター協会 (AJCC)
4. 日本バンケット事業協同組合
5. 特定非営利活動法人日本ホスピタリティ推進協会 (JHMA)
6. 特定非営利活動法人料飲専門家団体連合会 (FBO)
7. 全国ホテル宴会支配人協議会 (全国 BMC/東京 BMC)
8. 関東ダイニングマネージャーズ カンファレンス (関東 DMC)
9. 日本葬祭アカデミー教務研究室
10. 一般財団法人民族衣裳文化普及協会
11. 一般財団法人日本ホテル教育センター (JEC)
12. 特定非営利活動法人日本フードコーディネーター協会 (FCAJ)
13. ジャパンテーブルアーティスト協会
14. 特定非営利活動法人日本マナー・プロトコール協会 (JMPA)
15. 株式会社酒文化研究所
16. 特定非営利活動法人日本パーソナルカラー協会
17. 特定非営利活動法人四條司家食文化協会
18. フェイスストレッチング協会
19. フードコンサルタント協会
20. 一般社団法人日本色彩環境福祉協会 (JCWA)
21. 一般社団法人日本カラリスト協会
22. 一般社団法人日本 CA 協会
23. 一般社団法人ブライダルフラワーコーディネーター協議会 (BFCA)
24. 特定非営利活動法人日本ホテルレストラン経営研究所 (HRM)
25. NPO 法人日本和文化ネットワーク協会
26. 下町文化ウェディング協議会
27. 一般社団法人日本ホスピタリエ協会
28. 日本ブライダルスペシャリスト協会
29. 一般社団法人和文化産学協会
30. 特定非営利活動法人国際ホリスティックフェイス協会

(令和2年3月1日現在 30 団体)

- ② 一般社団法人日本ホテルレストランサービス技能協会 (HRS) 主催セミナーへの協力
- ③ 料飲業界の元気を出す会 合同研修会

- ④ 全国の BMC との共催研修会
- ⑤ その他関係団体等との合同研修会

8) 各省庁、行政機関等が主催するセミナー等への参加

9) その他、当協会の目的を達成するためのセミナー等の検討

- ① 和装文化振興事業団体（一般財団法人民族衣裳文化普及協会）との連携による新規事業開発
- ② 経済産業省、文化庁、宮内庁等と協力したセミナーの可能性

(2) イベント事業

1) 経済産業省後援「The Master of Bridal Coordinator」コンテストの開催

【応募期間】 令和5年4月3日～4月17日まで

【参加資格】 以下①②③の条件を全て満たす方

- ① 「ブライダルコーディネーター技能検定」1級合格者 または、過去の”The Master of Bridal Coordinator”コンテストで、「接客ロールプレイング試験」に出場経験のある方
- ② 当コンテストにおける「マスター」の称号をお持ちでない方
 - ①②を満たし、且つ以下の条件を全てご了承いただける方
 - ・ 論文テストの内容及び氏名、会社名の公表（上位10名）
 - ・ 接客ロールプレイング試験の映像収録
 - ・ 前項の映像のBIA活動における使用及び希望者へのDVD販売（上位5名）

【スケジュール】

① 接客ロールプレイング試験

試験の上位3名に“The Master of Bridal Coordinator”の称号を授与

【結果発表】

BIA 懇親会内で発表

以後BIAホームページにて1年間掲載

【賞】（報奨金総額：25万円）

グランプリ	1名	10万円	マスター認定証	バッジ
準グランプリ	1名	5万円	〃	〃
3位	1名	3万円	〃	〃
4～10位	7名	各1万円	ファイナリスト認定証	

2) 結婚喚起イベントの再編を検討

これまで実施して来た「結婚を決めた一言」「未来の家族への想い」等、一般消費者を対象とした結婚喚起コンテストの再編を追求。

3) 専門学校生等を対象としたコンテスト

専門学校生等の学習意欲の向上、実践的な人材育成を図るためのコンテストの実施を検討。支部活動、地域協議会、BMC等との連携、地域間での学校等との交流の活性化を図る。

4) (株)ブライダル産業新聞社主催「ブライダル産業フェア」への出展

【目的】「ブライダル産業フェア」に出展し、事業の広報活動を行う。

【日時】令和5年5月30日(火)～31日(水)

5) 「料飲業界の元気を出す会」の共同開催

【目的】料飲業界の活性化を図る。

料飲業界12団体及び日本ホスピタリティ・サービス産業団体協議会(JSC)が中心となり、各界に呼びかけて、相互に情報を交流し料飲業界全体の向上発展を目指す。

6) 関係団体等開催イベント等への後援・協力事業

- ① 一般財団法人民族衣裳文化普及協会「民俗衣裳文化功労者表彰」への協力
同「全国浴衣きれいコンテスト」への協力
- ② 料飲専門家団体連合会名誉利き酒師表彰式への協力
- ③ エリアウェディングサミットへの協力・後援
- ④ (株)リクルートブライダル総研「GOOD WEDDING AWARD」
- ⑤ 横浜fカレッジ「Shape」
- ⑥ 全国BMC若手コンペティション
- ⑦ 青山タウンウェディングフォーラム「青山ウェディングクイーンコンテスト」
- ⑧ その他

4. **ブライダルに関する内外関係機関との交流及び協力事業（定款第4条第4項関連事業）**

(1) 他団体との交流

- ① 全国の神社との交流協力
- ② 全国 BMC、東京 BMC との交流及び協力→隔月に行われる研修会・交流会への参加
- ③ JSC 会員企業との交流及び協力
- ④ ホスピタリティ・マネジメント学会との交流及び協力→学会参加
- ⑤ 余暇ツーリズム学会との研究交流
- ⑥ 日本おもてなし学会
- ⑦ 全国地方自治体との交流及び協力→問い合わせ等への協力
- ⑧ 消費者相談センターへの協力→情報交流・消費者相談への協力
- ⑨ 国際観光白山会との交流及び協力→学会・教育情報交流
- ⑩ 国内報道機関との情報協力→情報提供・プロジェクトプランニング協力
- ⑪ 日本キリスト教団、ブライダル宣教団等キリスト教団体との交流協力
- ⑫ 結婚式関わる業界団体である、一般社団法人全日本冠婚葬祭互助協会、一般社団法人日本ホテル協会と連携を強化、情報の共有・啓蒙活動等連携

(2) 国際文化情報交流

- ① 社団法人韓国 Wedding 産業振興協会（KOWA）との文化情報交流
- ② 上海ブライダル協会との文化情報交流
- ③ 在日外国大使館への文化情報協力等
- ④ JETRO による海外展開支援体制のサポート
- ⑤ その他の海外サービス団体との情報交流開発

5. **その他本会の目的を達成するために必要な事業（定款第4条第5項関連事業）**

(1) その他の相談対応等に係る活動

- ① 全国の消費者相談センターからの結婚式場に係るクレーム相談 対応
- ② 全国の消費者からの婚礼に係る質問等に係る対応
- ③ 会員・非会員企業からの問い合わせへの対応
- ④ 全国のブライダルコーディネーターからの質問に係る対応
- ⑤ マスコミへの協力対応（TV、新聞、ラジオ等）
- ⑥ 経済産業省をはじめ、各省庁等からの協力要請に対する対応その他ブライダル関連事項への対応

(2) BIA を叙勲褒章の推薦団体にする

- ① 全同業者に占める会員数が 60%以上
- ② 全同業者販売額に占める会員販売高が 60%以上
- ③ 会員の本社所在地、支店、営業所、工場などが 30%以上の都道府県に所在
- ④ 会員の当該業種の専門率が高い
- ⑥ 同業種において我が国唯一又は代表する全国団体

(3) 30 周年記念事業の検討

令和 7 年（2025 年）11 月 1 日に、BIA 設立（1995 年 11 月 1 日）から 30 年が経過するため、記念事業の実施を検討。

(4) その他

- ① 理事会の開催（年 4 回）
 - 5 月 17 日（火）
 - 8 月 30 日（火）
 - 11 月 15 日（火）
 - 3 月 14 日（火）
- ② 幹部会の開催
- ③ 委員会の開催